

平成29年度

Kさん 進学先:広島大学 総合科学部 総合科学科

主な合格校:青山学院大学 理工学部 化学・生命科学科
同志社大学 文化情報学部 文化情報学科
立命館大学 総合心理学部 総合心理学科

まず、私は総合科学部に進学するのですが、この学部を初めて聞いたという人も多いかと思います。総合科学部とは、文系、理系どちらの人も進学できる学部であり、学問領域の枠に縛られない自由な探究を目指す学部のことです。興味を持った人は、是非自分でも調べてみてください。

さて、受験を終えて、私が最も痛感していることは、センター試験の大切さです。センター試験で高得点をとることの利点は ①私大にセンター利用出願が出来る。②国立大学を受けるに当たって余裕ができる。の主に2つです。私は、私大は全てセンター利用で合格しました。私大をセンター利用で出願できると、直接大学へ入試を受けに行く必要がなく、国立大学の対策時間が増えます。また、2月という受験生が最も苦しい時期に、精神的余裕を持つことができ、国立大学の対策に前向きに向かうことができました。もちろん国立大学を受けるには、センター試験の点数が必要ですし、センター試験で高得点を取るに越したことはありません。センター試験では、基本的な問題しか出題されず、国立二次や私大一般入試よりも、随分対策がしやすく、勉強すればその分点数に繋がります。ですから、今までセンター試験を軽視していたという人も、センター試験高得点を目指して頑張ってください。

最後に、受験で必要になってくるのは、やはり、対策や傾向などの情報をたくさん収集することと、効率よく学習を進めることです。受験を迎えれば、苦しいことの方が多いと思いますが、合格への火を絶やさず突き進み、望ましい学問の道を自ら切り開いてください。

Kさん 進学先:広島大学 理学部 数学科

主な合格校:東京理科大学 理工学部 数学科
立命館大学 理工学部 数理科学科
近畿大学 理工学部 理学科 数学コース

受験に向けての勉強は3年生になってからするものだと考える人がいるかもしれませんが、しかしそれは違います。受験は1, 2年生時の経験や努力の積み重ねの上に成り立ちます。

私の場合、第一志望の受験には面接や志望理由書が必要でした。そのことは1, 2年生時の段階で知っていたため、常にそのことを念頭に置き、課外活動に積極的に参加するなど自分のアピールポイントを作っていくことができました。

また評定平均も重要だったため、定期考査での勉強も欠かしませんでした。一般受験の場合、評定平均が直接関係するわけではありません。しかし調査書を必ず提出するので成績や生活態度がいいにこしたことはないでしょう。

さらに定期考査や朝テストは勉強の基礎をつけるのに役立ちました。3年生になってから基礎を勉強しては間に合いません。授業で学習したときに理解し、テストで定着させることが重要です。そのため3年生では応用から始めることができました。また、考査勉強の折を利用することで自分に合った勉強の仕方を見つけていくことができました。勉強の仕方を見つけておくだけで、すべきことが見えてくるので効率よく勉強することができます。

最後に、よく「受験は団体戦だ。」といいます。3年生の12月ごろから、センターを控えた人とAOや推薦などで早く受験を終えた人とで温度差ができます。長い人は3月の中旬まで受験が続きます。たとえ自分の受験が終わっていたとしても配慮してあげてください。そうすることで勉強しやすい環境ができ、みんなで苦しい受験期を悔いなく乗り越えることができます。ぜひみなさんも最後まで諦めず、合格目指して頑張ってください。

Nさん 進学先:三重県立看護大学 看護学部 看護学科

私が受験勉強で役に立ったこと、また後悔したことを紹介します。

役に立ったことは、2年生までに毎日勉強する習慣を身につけていたことです。私は部活動をしており、毎日帰宅してから勉強するのはしんどかったです。特に1日練習があった日はサボりたくなりましたが、どれだけ疲れていても10分は必ず勉強していました。そのおかげか、引退後も毎日だらけることな

く、また辛くても頑張るといふ忍耐力が身につきました。

次に後悔したことは、苦手科目を放っておいたことです。毎日勉強していましたが、苦手科目は一切しませんでした。私の場合、受験で重要視されるのは英語だったのですが、全く基礎を固めていなかったため、受験勉強の大半を英語に充てることになってしまいました。受験当日でさえ、2年生までに基礎を固めておけばよかったと思う始末でした。苦手科目は決して放っておかないでください。苦手なら苦手なりに努力してください。

それでも私が大学に合格できたのは、自分の努力だけでなく先生方のおかげです。私は受験の1ヶ月前から先生に特別課外をしてもらい、ほぼ毎日、大学の過去問を解説していただきました。途中、諦めかけましたが、先生に勇気づけられ最後までやりきることができました。

最後に、受験は長期戦で辛いことも多いですが、一人で戦うわけではないと知りました。辛いときは周りの人に頼りながら最後まで諦めないでください。

Nさん

進学先:近畿大学 生物理工学部 遺伝子工学科

主な合格校:長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部

私は、6年制コースでありながら中学生の時は全く勉強しておらず、高校生になってから勉強するようになり、入りがかった部活も諦め、高校1年生の春から長期休暇も含めて自習室や進路資料室で平日は5時間以上、休日は12時間以上を目標に勉強していました。かなり早い段階から受験期並みの時間勉強してきたおかげで、3年生の時に長時間勉強していても苦ではありませんでした。また、授業の進路より早く予習して、教科書の内容を把握することができました。特に生物や化学では、暗記ノートを別で作り、定期テストから入試まで活用していました。

私は、授業中に予習復習した事を反映することが大切だと思います。前に見た事を思い出す事で印象つけて記憶することができるし、余計な事を考えずに集中することができます。また、クラスの雰囲気をも高めるのも重要です。勉強している人の邪魔にならないよう心がけ、勉強や進路などの情報を共有し合い互いに切磋琢磨しましょう。

受験期は、かなり精神的に辛いと思います。模試の判定も良く絶対受かると思っていた大学が不合格となる事もあります。辛い時は一定時間の休憩を作ってからすぐに切り替えて最後まで諦めない事が大切だと思います。私は、近畿大学の入試の時は本当に不調で、絶対落ちたと思っていましたが、まさかの合格でその時の達成感は最高でした。「今まで頑張ってきてよかった」と初めて思いました。

最後に、初めの自分からここまで上げることができたのは、多くの先生方や友達に支えていただいたからです。友達が合格キーホルダーを作ってくれたり、心が折れそうな時は先生と語りたりして気持ちを保つ事が出来ました。本当に感謝しています。皆さんも自分を信じて諦めずに最後まで粘って頑張ってください。